

令和元年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営

(1) 理事会5回 ※第4回及び第5回は決議の省略による

開催日	会議	議 題
平成30年6月6日	第1回理事会	<p>(報告事項)</p> <p>1. 会長の専決事項の報告について</p> <p>〈決議事項〉</p> <p>1. 平成30年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会事業報告の承認について</p> <p>2. 平成30年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会会計決算の承認について</p> <p>3. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について</p> <p>4. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会評議員選任解任委員会の招集について</p> <p>5. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会定時評議員会の招集について</p>
令和元年6月21日	第2回理事会	<p>〈決議事項〉</p> <p>1. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会会長及び副会長の選定について</p>
令和元年10月29日	第3回理事会	<p>〈報告事項〉</p> <p>1. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会定款第21条第4項の規程による会長の職務の執行状況(上半期分)の報告について</p> <p>〈決議事項〉</p> <p>1. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会居宅介護支援事業の廃止について</p> <p>2. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会の定款変更について</p> <p>3. 令和元年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について</p> <p>4. 令和元年度第2回評議員会の招集について</p>
令和2年 3月4日	第4回理事会 (決議の省略による)	<p>(決議事項)</p> <p>1. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について</p> <p>2. 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会評議員選任解任委員会の招集について</p> <p>3. 令和元年度第3回評議員会の招集について</p>

令和2年3月17日	第5回理事会 (決議の省略による)	(決議事項) 1. 令和元年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について 2. 令和2年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会事業計画について 3. 令和2年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支予算について 4. 令和元年度第4回評議員会の招集について
-----------	----------------------	---

(2) 評議員会4回 ※第3回及び第4回は決議の省略による

開催日	会議	議題
令和元年6月21日	第1回評議員会 (定時評議員会)	(決議事項) 1. 平成30年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会事業報告の承認について 2. 平成30年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会会計決算の承認について 3. 社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会理事の選任について
令和元年10月29日	第2回評議員会	(決議事項) 1. 社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会居宅介護支援事業の廃止について 2. 社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会の定款変更について 3. 令和元年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について
令和2年3月4日	第3回評議員会 (決議の省略による)	(決議事項) 1. 社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会理事の選任について
令和2年3月19日	第4回評議員会 (決議の省略による)	(決議事項) 1. 令和元年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について 2. 令和2年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会事業計画について 3. 令和2年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支予算について

(3) 監事監査の実施 令和元年5月28日 平成30年度業務執行状況及び財産状況監査

- (4) 正副会長会議 令和元年5月30日
令和元年9月20日

- (5) 評議員選任解任委員会 令和元年6月6日
令和2年3月10日

2. 広報啓発事業

- (1) 社協広報紙「ほっとそうさ」発行（13,200部×年2回）新聞折り込み
- (2) 広報用パンフレット作成
社協事業紹介、会員募集パンフレット（1,900部）
- (3) 社協ホームページの運営管理

3. 地域福祉事業

- (1) 地区社協活動への支援

地区社協事業費・運営費等助成金一覧

地 区	合計金額(円)
八日市場	1,425,675
豊 栄	598,627
須 賀	644,367
匝 瑳	314,295
豊 和	457,282
吉 田	313,471
飯 高	270,796
共 興	543,127
平 和	623,357
椿 海	429,196
野 栄	1,664,877
合 計	7,285,070

(2) 地区社協会長会議開催

第1回 令和元年5月17日

- ・令和元年度地区社協事業費・運営費の交付について
- ・令和元年度社会福祉協議会会員募集のお願いについて
- ・令和元年度日本赤十字社資募集のお願いについて
- ・生活支援体制整備事業について

第2回 令和元年9月20日

- ・令和元年度赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい運動のお願いについて

第3回 令和2年2月14日

- ・令和元年度地区社協事業費・運営費の交付について
- ・令和元年度台風15号・19号・21号における県内市町村社会福祉協議会の対応状況について

(3) サテライトデイサービスの開催協力

地区社協事業として実施するサテライトデイサービスに職員を派遣し、給食材料費を助成した。

地区	第1回		第2回		参加者数計	交付額
	開催日	参加者数	開催日	参加者数		
八日市場						
(下出羽)	4月4日	33			33	16,500
(若潮町)	6月12日	9			9	4,500
小計		42			42	21,000
豊栄	10月27日	32	2月16日	40	72	36,000
須賀	11月29日	44	2月20日	32	76	38,000
匝瑳	11月16日	29			29	14,500
豊和	10月26日	65			65	32,500
吉田	11月23日	75	2月23日	100	175	87,500
飯高	11月3日	65			65	32,500
共興	3月7日	0			0	
平和	11月9日	74	(3月7日)	0	74	37,000
椿海	3月	0				
野栄	5月28日 7月10日	47 51	10月20日 12月3日	53 50	201	100,500
計		524		275	799	399,500

(4) 地区社会福祉協議会活動紹介紙の発行（ほっとそうさと合併 年2回）

(5) 地域福祉フォーラム事業

地域内の様々な団体・組織、地域住民により地域づくりのあり方・取り組みについて話し合い、課題や問題を明らかにし、その解決に向け取り組む千葉県地域福祉フォーラム事業を、地区社協組織を基盤とする小域圏で実施。

令和元年度は野田地区・栄地区の2地区の地域福祉フォーラム実行委員会でいきいきサロン・役員視察研修等を実施し市社会福祉協議会として支援を行った。

(6) あんしん箱設置事業

ひとり暮らし高齢者等へのあんしん箱の設置。継続的な見守りと訪問活動の支援。

・設置個数 1, 343個（令和2年3月31日現在）

地区名	配布個数
八日市場地区	189
豊栄地区	125
須賀地区	63
匝瑳地区	56
豊和地区	185
吉田地区	43
飯高地区	110
共興地区	155
平和地区	99
椿海地区	35
野栄地区	285
計	1345

(7) 高齢者 SOS ネットワーク事業

徘徊等により、一時的に所在不明になった高齢者の搜索及び速やかな発見、保護を行うため、関係各機関との連携によりSOSネットワークを実施した。

登録者数 20名（令和2年3月31日現在）

(8) 車いす貸与事業

・貸与件数 53件

4. ボランティア活動育成事業

(1) ボランティアセンターの運営

(2) 登録ボランティアの活動保険加入（457人）

(3) ボランティア連絡協議会の運営支援

(4) ボランティア情報誌「touch」の発行 令和元年11月（10,800部）新聞折込

(5) ボランティア研修会等の開催

講座・研修	開催日	参加者	内 容
ボランティア フェスタ 2019 開催	11月24日	361名	ボランティア連絡協議会主催のボランティアフェスタ開催の後援及び支援
災害ボランティア センター立ち 上げ訓練	1月26日	39人	銚子市・旭市・匝瑳市の三市合同災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を開催

(6) 福祉教育の推進

講師としてボランティアグループの福祉出前講座「フレンドリー」を派遣した。

学 校 名	実 施 日	対象学年	内 容
吉 田 小	7月2日	3年生	手話学習
	7月8日	5年生	身体講話・車椅子介助
須 賀 小	10月29日	3年生	身体講話・車椅子介助（見学）
豊 栄 小	11月6日	4年生	身体講話・車椅子介助
八 日 市 場 小	12月11日	4年生	身体講話・車椅子介助
椿 海 小	1月8日	4年生	身体講話・車椅子介助
豊 和 小	1月15日	3年生	高齢者疑似体験

(7) 令和元年台風15号・16号集中豪雨に伴う被災者支援活動

令和元年9月24日～10月18日までの25日間災害ボランティアを募集し、延べ42人のボランティアが被災世帯の家財等の片づけなどを実施した。

5. 相談事業

(1) 法律相談

弁護士による無料法律相談を隔週月曜日、午後1時から4時まで開設

開設日数23日 相談件数95件

相 談 事 項	
生 計	1
職業・生業	3
住 宅	6
家 族	8
離婚・結婚	13
健康・衛生	1
人権・法律	1
財 産	9
債 権 取 立	9
債 務 弁 済	18
相 続	17
事 故	7
福 祉 関 係	1
苦 情	0
そ の 他	1
合 計	95

6. 老人福祉事業（市受託事業）

(1) 介護予防事業

閉じこもり予防、認知症、うつ予防デイサービス事業

介護保険の介護認定を受けていない高齢者に対し、閉じこもり予防、認知症、うつ予防を目的にデイサービス事業を毎週月曜日に実施。

- ・実施日数 46日
- ・利用登録者 6人（令和2年3月31日現在）
- ・延べ参加者数 285人

(2) 生活管理指導員派遣事業

介護保険の介護認定を受けていない高齢者で日常生活を営む上で支障のある方にホームヘルパーを派遣し、生活援助・相談等のサービスを提供。

- ・利用者数 4人（令和2年3月31日現在）
- ・延べ派遣件数 253件

7. 介護保険事業

(1) 居宅介護（予防）支援事業

（休止中だったが令和元12月31日をもって廃止）

(2) 訪問介護（介護予防・日常生活支援総合）事業

要介護状態、要支援状態にある高齢者に対し、保険、医療、福祉との連携を図りながら、訪問介護サービスの提供に努めた。

- ・訪問介護 216人
- ・予防訪問介護 86人

8. 小規模多機能型居宅介護事業所「紙ふうせん」の経営

地域密着型サービスとして「紙ふうせん」を運営し、通い・訪問・宿泊サービスを提供。

(1) 利用状況

- ・利用登録者数 16名 （令和2年3月31日現在）
- ・利用延べ件数 通い 2,639名
訪問 1,273名
泊まり 122名

(2) 運営推進会議開催

「紙ふうせん」運営推進会議を6回開催し、運営状況、利用実績等報告した。

(3) 施設事業

- ・季節事業 お花見会、外出レク、七夕、敬老会、運動会、サンマ祭り
文化祭、クリスマス会、書き初め、初詣、節分、ひな祭り

- ・定例行事 お誕生日会、外食会、買い物支援

- ・地域交流 十二所神社の立ち寄り

- ・ボランティア協力 折り紙、日本舞踊、手品、カラオケ、コーラス、銭太鼓
ウクレレ演奏会、ダンス、健康体操、フラダンス、ギター演奏
ハーモニカ・唄

- ・その他 防災避難訓練
消防・避難訓練
外部研修 [安全な介護職について]

9. 障害者福祉事業

- (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスを提供（居宅介護・重度訪問介護）

・居宅介護件数 228人

10. 共同募金事業

共同募金支会事務局の運営

- (1) 令和元年10月1日から令和2年3月31日まで6ヶ月「赤い羽根共同募金運動」実施

募金目標額 4,450,000円

募金実績額 4,102,401円

- (2) 令和元年12月1日から令和元年12月31日まで1ヶ月「歳末たすけ合い運動」を地区社協、民生委員の協力で実施

募金目標額 2,321,000円

募金実績額 6,445,477円

見舞金額 1,830,000円

- (3) 災害見舞金の支給 17件

- (4) 助成金

- ① 匝瑳市身体障害者福祉会に助成
- ② 匝瑳市遺族会に助成
- ③ 匝瑳市手をつなぐ育成会に助成
- ④ ことばの教室親の会に助成
- ⑤ 青少年相談員連絡会に助成
- ⑥ 母子寡婦福祉会に助成
- ⑦ こども会育成連絡協議会に助成

1 1. 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない高齢者や障害者に、福祉サービスや日常的な金銭管理などの援助を行い地域で安心して暮らせるよう支援を実施

利用者数 23人

1 2. 貸付事業

低所得者、高齢者、身体障害者世帯の経済的自立と安定した生活の維持を目的に貸付事業を実施。

(1) 相談件数 135件

(2) 生活福祉資金貸付

種別	令和元年度新規貸付件数	現在償還中件数
総合支援資金	0件	15件
福祉資金	緊急小口資金 23件 福祉費 3件	緊急小口資金 28件 福祉費 10件
不動産担保型	0件	0件
教育資金	0件	15件

(3) 生活福祉資金償還業務

償還時期を迎えた生活福祉資金借用者に対する償還業務。

予定日に償還引き落としが出来なかった生活福祉資金借用者に対し、電話・郵送・訪問による償還指導を実施。引き落としが出来なかった理由を確認するとともに、生活指導が必要な滞納者に対しては生活指導を実施し、生活状況を改善するためのアドバイスならびに償還を促した。

1 3. 応急援護事業

(1) 災害援護資金

火災1件

14. 安心生活基盤構築事業

自主財源の確保として設置した「寄付つき自動販売機の設置」については引き続き、飲料メーカー地区社協の協力のもと、平成24年度から小規模多機能型居宅介護施設「紙ふうせん」、市民ふれあいセンター、地区のコミュニティセンター、野栄ふれあい公園等に12台配置し、売上の一部が地区の福祉活動の財源となる。

地域における福祉の担い手不足の解決の為、平成27年度から事業を開始した「社会福祉推進委員」は令和2年3月31日現在113名となった。

自主財源の確保	寄付つき自動販売機の設置	令和元年4月～令和2年3月 「飯高地区」「椿海地区」「豊和地区」「共興地区」 「吉田地区」「野栄地区」「本会」で実施。
---------	--------------	---

災害時要援護者台帳の更新

市内全域（令和2年3月31日現在）

- ・災害時要援護者数 1,475名
- ・高齢者のうち要援護者占有率 21.4%

15. 地域福祉活動計画の策定

複雑化する地域課題の解決のため、匝瑳市と匝瑳市社会福祉協議会が一体となって市全域の地域福祉を促進するための指針として、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間として第2次計画を策定した。

16. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

生活困窮者に対して家計、就労などの相談支援を包括的・継続的に行う事により早期に困窮状態から脱却し自立の促進を図った。

- ・相談件数 21件

相談経路	本人（来所・電話）	11件
	家族・知人（来所・電話）	0件
	関係機関・関係者紹介	10件
	計	21件

- ・主な支援状況

市役所・ハローワークへの同行支援・支援機関との連絡調整、フードバンクと連携した食糧支援、不動産店との連携による住居確保、生活福祉資金制度を活用した家計相談。

17. 生活支援体制整備事業（市受託事業）

「地域包括ケアシステム」の構築に向け、地域の支え合いによる「互助」の取り組みが推進できるよう、平成29年度から事業を実施。

平成31年度から、地域の課題等を協議する場として、「匠瑳市地域支え合い推進会議（第1層協議体）」を設置し事務局を担った。

匠瑳市地域支え合い推進会議が中心となって、高齢者や障がい者など支援を必要とする方々が地域で暮らし続けられるように、宅配サービスなどの暮らしに役立つ情報を掲載した「シニアの安心生活ガイド」を2000部発行した。

この事業の一環として、令和2年度から実施予定の生活支援サービス（ちょこっとサービス）に向けて担い手養成講座を2回開催し、延べ26名が受講した。

18. 法人後見事業

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など意思決定が困難な方の判断能力を補うため、本会が成年後見人等を受託して、身上監護等を実施した。

また、事業の適切な運営を図るため、弁護士や司法書士、社会福祉士といった専門職と、行政職員により構成される法人後見運営委員会を開催した。

担当職員が各種研修会に参加し成年後見制度に関する知識と実践を深めた。

令和2年3月31日現在成年後見受託者1名。

令和元年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する付属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 2年 5月

社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会